

River Basin Disaster Resilience and Sustainability by all

# EDO!GAWA

## みんなで3つの 流域治水の推進

江戸川、  
中川・綾瀬川流域  
3つの  
**DO!**

\*裏面に具体事例をご紹介します

**DO!**

氾濫をできるだけ  
**防ぐ・減らす**  
ための対策

**DO!**

被害対象を  
**減少**  
させるための対策

**DO!**

被害の軽減、  
**早期復旧・復興**  
のための対策



流域治水  
とは

流域治水とは、気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、堤防の整備、ダムの建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。河川管理者による治水対策はしっかりと実施しながら、流域の自治体・企業・住民などと協力して持続可能な治水対策にも取り組むことで社会や経済を発展させていく事を目標としています。



強雨の回数  
約1.5倍  
の増加

1時間あたりに降る雨の量が50mm以上の回数は、四半世紀前の平均226回(1976～1985)に比べ、平均328回(2013～2022)と、約1.5倍に。令和元年の水害被害額が統計開始以来最大になっており、氾濫危険水位(河川が氾濫する恐れのある水位)を超過した河川数は、増加傾向にあり、水害による災害リスクは今後も上昇していくものと考えられています。



河川・防災  
情報の充実

河川管理者として河川・防災に関する情報を発信しています。「川の防災情報」、「川の水位情報」で、河川の水位を公開したり、X(旧 Twitter)による防災情報の配信を行ったりしています。災害時だけでなく平時から流域治水について学べるサイトも現在整備しています。



事務所公式 X



事務所HP



流域治水プロジェクト

# EDO!GAWA 近隣住民の皆様にご協力いただきたいこと

流域治水は、行政だけでなく住民や企業の皆様も取り組める対策がたくさんあります。ここでは、家庭でもできる一例をご紹介します。常日頃、できることから、積極的に取り組みましょう。

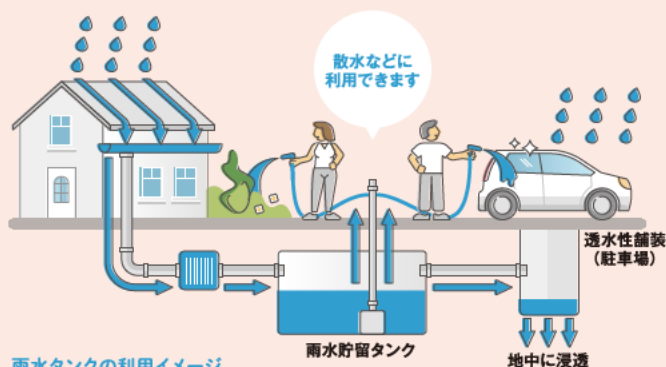
## DO! 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### ● 家庭からの排水を減らす

洪水時に、川や下水道を流れる水を減らすためには、家庭からの排水量を減らすことも大切です。大雨によって川が氾濫しそうな時は、お風呂や洗濯の水をできる限り流さないようにしましょう。

### ● 雨水を貯める

屋根に降った水を「雨水タンク」に溜めて、雨水を庭の散水などに活用しましょう。限られた水資源を大切に使うことで、水道料金も安くなります。庭に花壇を設けたり、駐車場を透水性舗装や芝生にしておくことも効果的です。



雨水タンクの利用イメージ

## DO! 被害対象を減少させるための対策

### ● 排水溝の清掃

洪水時には、雨は道路に沿って設置されている排水路をつたって川へ流れ出ます。排水路に落ち葉などがたまっていると、雨水が流れません。晴れているときに道路の清掃をしておきましょう。

### ● 土のうや水のうの設置

プランターとレジャーシートによる止水、水のうと板による簡易止水板など。

### ● 危険な場所に住まない選択

不動産取引時には、水害リスクについても説明されることになっています。危険な場所に住まない選択も流域治水の一つです。



## DO! 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### ● 避難に備えた計画・水害時に自分が取るべき行動のマイ・タイムラインを作ってみましょう。

#### マイ・タイムライン作成の流れ

- 1 正しい避難について学ぶ
- 2 いつなにをするべきか家族で話し合う
- 3 マイ・タイムライン記入欄に情報を記入する
- 4 家族が見える場所に置いておく



国土交通省 マイ・タイムライン



<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/tisiki/syozaiti/mytimeline/index.html>

## 江戸川、中川・綾瀬川流域での行政の取り組みの紹介

### DO! 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 堤防整備、河道掘削、調節池の整備
- 雨水貯留施設の整備、田んぼダムの活用
- 排水施設の整備、校庭貯留 など

### DO! 被害対象を減少させるための対策

- 都市開発に関する条例等の策定
- 浸水被害防止のための助成制度創設
- 立地適正化計画の強化 など

### DO! 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 防災教育の充実、ハザードマップの公表
- マイタイムラインの普及促進
- 水防災情報の発信強化 など